



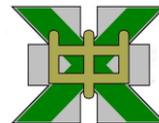
《学校教育目標》

「育成を目指す資質能力」

- やり通す「粘り強さ」
- 協力する「協働する力」
- 前進する「創造する力」

啓北中四本柱

- ・挨拶励行
- ・環境美化
- ・私語撲滅
- ・時間厳守



苫小牧市立啓北中学校 学校通信 令和7年8月29日発行

啓北中「6つの行動指針」 すべての教育活動を この考えのもと推進していきます。

- 01 **学ぼう** (子どもも教師も学ぼう)
- 02 **育てよう** (未来を生き抜く子どもに必要な資質・能力を育てよう)
- 03 **楽しもう** (子どもも教師も楽しもう)
- 04 **聞こう** (意見や悩み事など、子どもの声に耳を傾けよう)
- 05 **寄り添おう** (相手の立場になって考えよう)
- 06 **つながろう** (子ども同士をつなぐとともに、地域に、社会につなげよう)

いじめってなんだろう・・・

いじめって何？

全国各地の学校で、いじめの問題が報道されるたびに考えさせられます。

今年の夏、甲子園に出場したある高校の事案が報道されていることは、ご存じのことだと思います。SNS 上での情報に振り回されている感がありますが、報道されている行為が本当であるならば、それは「いじめ」という言葉で片づけてよいのだろうか・・・本事案によって、いったい何人の人生が狂ってしまったのだろうか・・・。

本校におけるいじめの問題があったときに、生徒に投げかけた言葉です (原文掲載)

「いじめ」という言葉を皆さんはどのように受け止めますか。

何か勘違いをしてはいないでしょうか。いじめは、「暴行罪」「脅迫罪」「傷害罪」「強要罪」「名誉棄損罪」「器物損壊罪」などです。

「いじめ」という、ある意味広い捉え方ができる言葉で、その行為を軽んじているのではないのでしょうか。

学校には、文部科学省が定義する「嫌な思いをすること＝いじめ」はありますし、現在、本校にもあります。しかし、重大な問題としてとらえてほしいのは、一度注意をされてその行為が止んでも、ある一定の期間が過ぎると、繰り返されるケースがあるということです。

当事者の「いじめ」という行為への認識が甘いからです。前述した通り、いじめは犯罪です。

いじめは、人の心を傷つけ、その後の人生を狂わせ、時に命さえも奪ってしまいます。

この言葉を重く受け止めてほしい。この言葉は被害者視点で示しましたが、加害者も「人生を狂わす」という点においては同じです。

一度犯した過ちが、ネット上で取り上げられて拡散すると、その後の自分自身の人生に大きな影響を及ぼすばかりか、家族にまで影響を及ぼすことがあります。ネット上での情報流出の恐ろしさは皆さんの方がよくわかっているのではないのでしょうか。

生徒の皆さんには、次の「思い」を大切にしてほしいと思います。

<いじめは絶対に許さない>

いじめの問題の一番近くにいるのはみなさんです。嫌な思いをしている友達を見たら、加害者に勇気をもって注意する、大人にすぐに知らせることなど、いじめは絶対に看過しない・許さないという強い思いをもってください。

その「思い」が、被害者も加害者も救うことになります。

本校のいじめの状況

14/383

この数字は、6月実施のいじめに関するアンケート調査結果です。4月からアンケート実施までの期間で「嫌な思いをしたことがある」と回答した生徒が14名いたということです。

(全校生徒383名)

保護者の皆さんは、この数字をどのように受け止めるでしょうか。

いじめの定義

- 一定の人間関係にある生徒が行う
 - 心理的または物理的な影響を与える行為（SNS含む）
 - 行為を受けた生徒が心身の苦痛を感じている
- ※加害者がふざけているだけ、という行為も、被害者が苦痛を感じているとなれば「いじめ」となります。

アンケートは、子供の心の声です。

SNSトラブル、からかい、悪口、たたく・・・いじめに該当する行為は上記の定義に照らしあわせるとたくさんあります。子供の心の声をしっかりと受け止め、迅速に対応いたします。

39/383

この数字は、嫌な思いをしたときに、誰にも相談しないと回答した生徒数です。

思春期を迎える中学生が、大人に相談しなくなっていくのは発達上必然ともいえるのですが、嫌な思いをしたときに、家族に、友人に、先生に相談できることが、問題の早期解決に結びつきます。そのためにも、学校は、生徒の心に寄り添う姿勢をしっかりともち、相談しやすい雰囲気を醸成していくことが重要だと思っております。

学校や我々大人が生活している社会から「いじめ」をなくすことは容易ではありません。

いじめを根絶するただ一つの方法が「心の成長」です。**相手を思いやる気持ちを育てる**ことこそが、学校をはじめとするこの社会を本当の意味で「安全・安心」にすることができると思っています。

道徳教育、学級指導、個別指導を繰り返し、子供の気持ちに寄り添いながら、心の成長を促していきます。

2学期期がスタートします

いよいよ、2学期がスタートしました。夏休み期間中、命にかかわる重大な事故などはなく、みんな元気に2学期をスタートさせることができたと思っています。

2学期は、大きな行事として学校祭があります。学習面では、内容がより難しさを増し、日々の学習の積み重ねが大切になってきます。3年生は受験への取組が本格化し、佳境を迎えます。それぞれの進路実現に向かって頑張ってもらいたいと心から願っています。

始業式には、生徒たちに「時間を大切にしてほしい」と伝えています。

それは、「世界中の人に平等に与えられているのが時間である。その時間をどのように使うかによって、未来の皆さんの姿が決まってくる。自分の目標に向かって時間を有効に使ってほしい」ということです。

未来の姿を想像し、目の前にある取組について目標を立てて、有意義な2学期を過ごしてほしいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、2学期もご協力を賜り、啓北中学校の生徒一人一人、そして教職員を応援していただきますようお願いいたします。